

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	稲沢市役所			代表者名	加藤錠司郎
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総合政策部デジタル推進課	連絡先電話番号	0587-32-1142
担当者役職	主査	担当者氏名	鈴木香里奈	連絡先E-mail	
住所	492-8269 愛知県稲沢市稲府町1番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	デジタルデバインド対策事業
概要	高齢者等デジタルデバインド対策の取り組みの一環として、市内高校生を講師役としたスマホ相談会の実施		
支援を求める分野	デジタルデバインド対策		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年1月31日	支援・助言(実地)	9時15分	12時30分	
			活動時間（分）	195	
2-2. 派遣場所	会場名	稲沢市立中央図書館		最寄駅	国府宮駅
	所在地	愛知県稲沢市正明寺三丁目114番地		最寄駅からの交通手段	市コミュニティバス

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	浦田 真由
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	前回までスマホ相談会当日に向けてアドバイザーの知見を活かした支援をいただきました。相談当日は、相談者のスマホ操作の不安ごとを一つでも払拭できるよう、名古屋大学の学生と緑風館高校ボランティア部の生徒が協力して相談業務にあたることができました。
アドバイザーへの要望事項	引き続きよろしくをお願いします。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	33人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	5	15		13

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	当市のデジタルデバインド対策は、市独自の補助金制度により地元企業がスマホ教室等を実施しているが、新たな担い手の育成が課題となっている。補助金ありきの事業から脱却を検討する必要があるため、地元の高校生を講師役とするスマホ相談会の実施を検討している。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	孫世代である高校生を講師役としたスマホ相談会は、相談しやすい環境を提供し、高齢者層にスマホを身近に感じてもらう有効な手段となり得ます。スマホ相談会を通じて、高齢者の方々がスマホの利便性を実感し、市からの情報発信をスマホで受け取れるようになることで、情報格差の是正に繋がります。さらに、オンライン手続きへの抵抗感を減らし、デジタルデバインドの解消にも貢献することが期待するもの。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	相談ブースに高校生と大学生がペアになるように配置していただき、相談者のデジタルスキルをチェックしながら相談業務にあたることができました。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	相談者がスマートフォンの操作で不安ごとを解決し、スマホの便利さを実感し、興味・関心を持ってもらうことができました。 講師役である高校生については、相談会での経験を通して、高齢者等がどのようなことで困っているのかを知ることができ良い経験となりました。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	相談者に満足度調査を実施しました。(回答結果は別紙のとおり)	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	講師役の高校生に別紙のとおりアンケートを取りました。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
4-4. 事業の最終的な目指す姿	孫世代である高校生を講師役としたスマホ相談会は、相談しやすい環境を提供し、高齢者層にスマホを身近に感じてもらう有効な手段となり得ます。スマホ相談会を通じて、高齢者の方々がスマホの利便性を実感し、市からの情報発信をスマホで受け取れるようになることで、情報格差の是正に繋がります。さらに、オンライン手続きへの抵抗感を減らし、デジタルデバイドの解消にも貢献することが期待するもの。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可

掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

